

生涯学習部

運営方針

子どもの育ち、市民の学び、スポーツ・文化活動の推進

市民一人ひとりが生きがいを持って、いきいきと創造的に暮らせる社会を実現するために、市民がつながり、地域がつながる場をつくり、子どもの育ち、市民の学び、スポーツ・文化活動を推進します。

【重点施策とめざす方向】

社会教育の活性化とスポーツ・文化の振興

各公民館の活性化を図ると同時に、加賀田公民館と加賀田小学校の複合化基本計画に基づき、測量及び設計を推進します。

また、シティマラソン大会を開催するとともに、散在し老朽化が進むスポーツ施設の再編整備を検討し、基本構想を策定します。

なお、文化会館及びスポーツ施設は、指定管理者を通じて効果的かつ効率的に管理運営を行い、多様な生涯学習関連事業を展開します。

一方で、市民交流センターは、利便性の向上を図りながら、センター機能や効果的な運営のあり方を検討します。



【実績】

目標どおり達成

8つの公民館で主催講座の活性化を図るとともに、加賀田公民館と加賀田小学校の複合化に向けて、令和4年度に作成した基本計画に基づき、測量及び実施設計を行いました。

また、市内事業者と連携しさらに魅力アップを図りながら安全にシティマラソン大会を開催するとともに、散在し老朽化が進むスポーツ施設の再編整備基本構想（素案）を作成しました。

さらに、文化会館及びスポーツ施設は、指定管理者を通じて効果的かつ効率的に管理運営を行い、各分野において様々な生涯学習関連事業を展開しました。

一方で、市民交流センターは、キャッシュレス決済を導入するとともに、エントランススペースでの展示やカフェ等による活用を図りながら、センター機能や運営のあり方について検討しました。

子どもを守り育む環境づくりの推進

待機児童を出すことなく、放課後児童会の安定的な運営や南花台小中一貫校整備に伴う新設を行うとともに、放課後子ども教室等の充実を図りながら、子どもたちの安全で安心な居場所の確保に努めます。

また、民間法人が実施する夏休み預かり事業に対する助成や、通年の放課後児童会の制度化に向けて取り組むとともに、施設整備を支援します。

さらに、青少年健全育成関係団体やPTAなどの取り組みを支援するとともに、それらの団体との連携を進めながら、子どもの体験活動等を充実します。



目標どおり達成

放課後児童会については、1,169名の児童を受け入れ、待機児童を出すことなく運営するとともに、4月から支援員リーダーの処遇改善を実施しました。また、南花台小学校の移転に伴い、放課後児童会を新たに整備しました。

さらに、民間法人による夏季休業期間中の預かり事業への支援を制度化し、3施設で実施した結果、12小学校区から94名の児童が利用するとともに、令和6年度からの民間法人による放課後児童会の開設に向けて、施設整備にかかる費用の一部を助成しました。

放課後子ども教室については、延べ74回、1,027名が参加するとともに、新たに科学教室を9回開催し、119名が参加しました。

青少年健全育成関係団体やPTAなどとの連携については、子ども向けの体験活動や地域環境向上のための啓発活動の実施や街頭パトロールなどへの協力を求め、地域や家庭の教育力を高める取組みを支援しました。

歴史文化遺産の保護・活用の推進

河内長野市文化財保存活用地域計画に基づいて、高向・上原地区の埋蔵文化財等の文化財調査や指定文化財の保存修理を進めます。

また、日本遺産関連事業や文化財施設の機能強化をはかることで、本市の魅力の掘り起こしと発信を行います。

この他、市内の年中行事や伝統行事を調査研究し、学校教育や社会教育の教材として活用できる河内長野版『歳時記』の編集・作成（紙媒体図書、動画、紙芝居など）・活用（WEB公開、講座など）を進めます。



目標どおり達成

高向・上原地区の埋蔵文化財等の文化財調査及び補助事業（金剛寺築地塀、興禅寺阿弥陀如来坐像及びその収蔵庫の保存修理事業）は予定どおり完了しました。

また、日本遺産関連事業については、市内での講座や市外での講演会を実施したほか、各学校で郷土歴史学習を行うことで、日本遺産の普及啓発・情報発信に努めました。

この他、河内長野版『歳時記』の事業として、地域の伝統行事の映像を収録（伝承版、普及版、WEB版）するとともに、各伝統行事をイラストと解説文でわかりやすく紹介する冊子を作成しました。

図書館サービスの推進

第4次子ども読書活動推進計画を推進するとともに、ICTを活用した図書館サービス（電子書籍等）の充実、音と映像コーナーをリニューアルした愛称「こもればび広場」の活用、郷土資料の活用（修復およびデジタル化した古絵図の活用）ほか、図書館サービスの充実を進めます。

図書館サービスの安定した提供のため、図書館システムを更新し、機能の追加を図ります。

また、英語村構想事業と連携した、英語多読資料の整備・普及に取り組みます。



目標どおり達成

第4次子ども読書活動推進計画を関係各課との連携のもと、計画的に推進しました。

電子書籍の充実・利用促進を図り、認知症カフェや英語多読ひろばの開催など、交流の場として「こもればび広場」の活用を進めました。

郷土歴史資料を活用し、修復を行ったほか、講座の開催やデジタル化した古絵図の紹介をYouTubeで配信し、普及啓発を図りました。

図書館システムを更新して、スマートフォンの画面に利用者カードのバーコードを表示し図書館資料の貸出しができるサービスの提供を開始しました。

英語多読資料を214点整備し（蔵書総数2,293点）、年間11,569点の貸出しがありました。また、英語多読ひろばや生活に役立つ図書館講座を開催し、英語多読の普及に努め、交流の機会を提供しました。